

Web公開をする印刷物の アクセシビリティデザイン ガイドライン (新事業別カラー・地域別カラーを含む)

2018/3/19改訂

広報・IR部 WEB戦略G

IT企画開発2部 企画開発4G

1. 目的：

Web公開をする印刷物のアクセシビリティ デザインガイドラインを定義する。当社のWebコンテンツは、高齢者や障がい者などすべての人が使いやすいよう、アクセシビリティグローバル基準WCAG2.0に準拠する。印刷物の文字や図版等はこの基準に沿って制作し、公開時の修正費用を削減する。

2. ガイドラインのポイント：

- ①. 認識しやすくする
 - ・文字や図版のサイズは大きめにする
 - ・文字や図版と背景のコントラスト比を高くする
 - ・色だけで区別させない
- ②. 理解しやすくする
 - ・統一感のあるデザインとする
 - ・文字数や要素をできるだけ減らす
 - ・規則性があり整理されたデザインとする
 - ・情報を理解するための補完要素を追加する

3. 基準 & チェック方法：

- ①. 文字と背景のコントラスト比が 4.5:1以上（WCAG2.0レベルAA）であること。但し、18ポイントまたは14ポイント以上の太文字は 3:1以上のコントラスト比があることとする。但し、ロゴは除く。
- ②. 図版はWCAG2.0で定義されていないが、隣り合った領域が3:1以上のコントラスト比があること。
- ③. コントラストのチェックはWCAG2.0準拠のチェックツールを用いる
推奨ツール：[Colour Contrast Analyser \(Windows/Mac\)](#)

ガイドラインの説明の前に、

- 本資料は「ガイドライン」、「新事業別カラー・地域カラー」、「改善例」で構成しております。
- 皆様が制作した印刷物の図版を「例」として使用しております。これは今後、より望ましい形で制作を進めていただくことを目的としていることをご理解ください。

アクセシビリティデザイン ガイドライン

1. 文字や図版のサイズは大きめにする

- ①.文字は読みやすいスペースを確保した上で大きくする
- ②.棒グラフは隣の棒との識別ができるように太くする。また、折れ線グラフの線は十分認識できる太さにする

2. 文字や図版と背景のコントラスト比を高くする

- ①.文字や図版と背景のコントラスト比の基準値以上を確保する
- ②.文字や図版に黒や白フチをつけることで背景とのコントラスト比を確保することもできる
- ③.図版に黒や白の枠線をつけることで背景とのコントラスト比を確保することもできる

3. 色だけで区別させない

- ①.必ず色に文字またはレイアウトを組み合わせる
- ②.隣あった色のコントラスト比を十分確保して配色する
- ③.色に網掛けやテクスチャーなどを組み合わせる

4. 統一感のあるデザインとする

- ①.同一の情報を複数個所で表現する場合は同じ図版を使用する
- ②.色に意味を持たせる場合はテーマでの一貫性を確保する

5. 文字数や要素をできるだけ減らす

- ①.図版に用いる文字はできるだけ簡潔にする
- ②.重複した情報はできるだけ減らす工夫をする

6. 規則性があり整理されたデザインとする

- ①.タイトルやコメントなど役割により文字のサイズや配置を統一する
- ②.グラフの凡例のレイアウトは、向きを揃える

7. 情報を理解するための補完要素を追加する

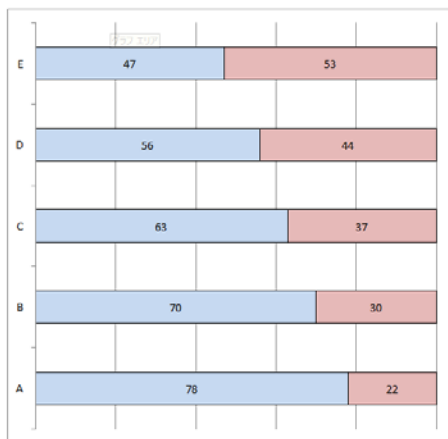
- ①.邪魔にならない範囲でグラフに目盛線やポイントをつける
- ②.引き出し線は、先端にアクセントを付ける

ガイドライン 1 : 文字や図版のサイズは大きめにする

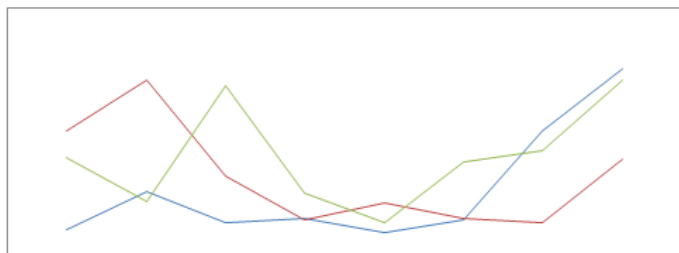
- ① 文字は読みやすいスペースを確保した上で大きくする
- ② 棒グラフは隣の棒との識別ができるよう太くする。また、折れ線グラフの線は十分認識できる太さにする

G : ガイドライン

例 : 棒グラフの幅が狭い・折れ線グラフが細い

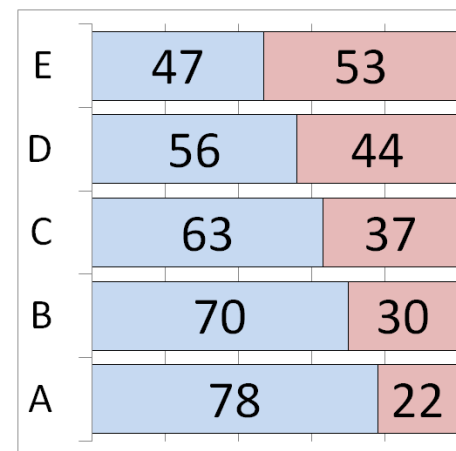


棒グラフの幅が狭いと中の文字も小さくなる。
内容がわかりづらい。

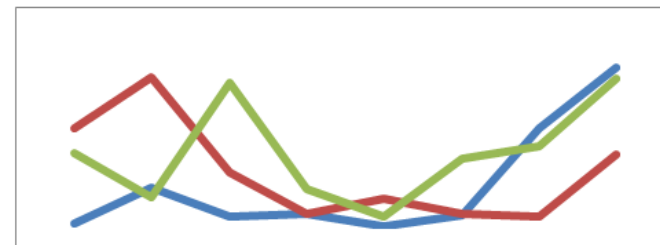


グラフの線が細いとわかりづらい

改善例



棒グラフを太くすれば文字を大きくできる。内容もわかりやすい。 G1-①, G1-②



線を太くすることで認識しやすい

G1-②

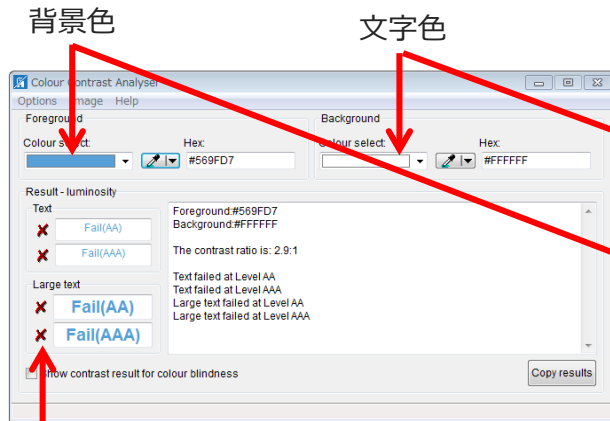
ガイドライン2:文字や図版と背景のコントラストをつける

- ① 文字や図版と背景のコントラスト比の基準値以上を確保する
- ② 文字や図版に黒や白フチをつけることで背景とのコントラスト比を確保することもできる
- ③ 図版に黒や白の枠線をつけることで背景とのコントラスト比を確保することもできる

G: ガイドライン

例: コントラスト比が確保されていない例

コントラストチェックツール



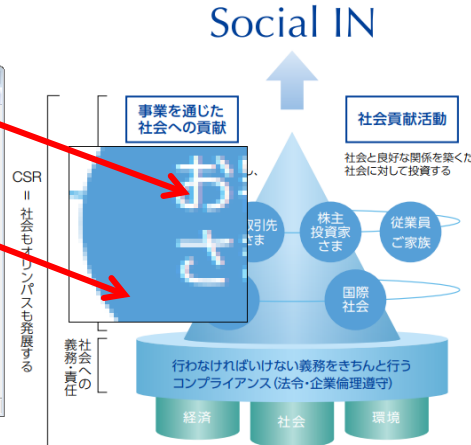
<https://developer.paciellogroup.com/resources/contrastanalyser/>

判定結果

- 飲食事業
- アパレル事業
- リゾート事業

背景が白地の場合、文字に色を使うとコントラストを確保するのが難しい。(高齢者、視覚に問題ある方は読みにくく感じる)

○ オリンパスグループのCSR概念図



改善例

文字の色を変える G2-①



背景の色を変える G2-①



文字にフチを付ける G2-②



図版に枠を付ける G2-③



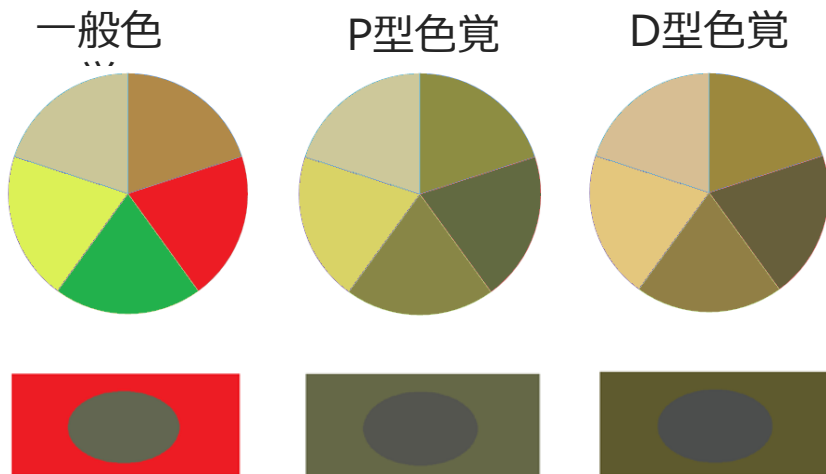
ガイドライン 3 : 色だけで区別しない

- ① 必ず色に文字またはレイアウトを組み合わせて使用する
- ② 隣あった色のコントラスト比を十分確保して配色する
- ③ 色に網掛けやテクスチャーなどを組み合わせて使用する

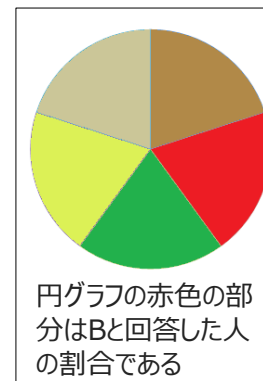
G : ガイドライン

例 : 色覚障がい者の見え方

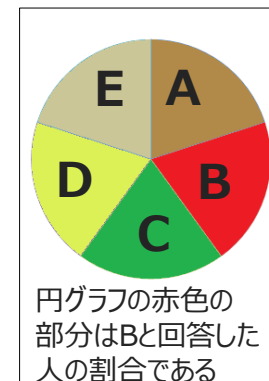
円グラフを色だけで塗り分けられている場合、「赤」と「緑」の区別が付きにくい2色型第1色覚異常の方には何を示しているのかわからない。



改善例



G3-①



G3-②



G3-③



ガイドライン4:統一感のあるデザインとする

- ① 同一の情報を表現する場合は同じ図版を使用する
- ② 色に意味を持たせる場合はテーマでの一貫性を確保する

G: ガイドライン

例: CSRLレポート

○ オリンパスグループのCSR概念図

例: アニュアルレポート

CSR概念図

文字数が多い概念図はアクセシビリティの確保が難しい
アクセシビリティに優れたデザインの変更が望ましい

改善例

○ オリンパスグループのCSR概念図

G4-①

要素を削らずにデザインのみを変更。

例

丸の内線

銀座線

千代田線

国立市

小金井市

同一の色に別属性の意味を持たせると混乱する

改善例

丸の内線

銀座線

千代田線

国立市

小金井市

色に意味を持たせる場合は「一対一」の関係とする。

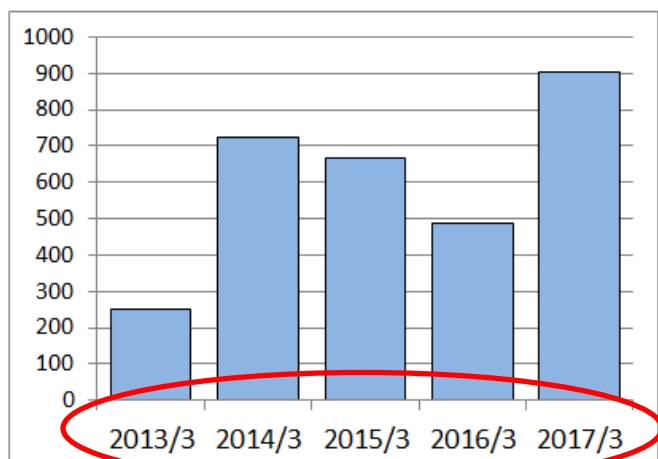
G4-②

ガイドライン 5 : 文字数や要素をできるだけ減らす

- ① 図版に用いる文字はできるだけ簡潔にする
- ② 重複した情報はできるだけ減らす工夫をする

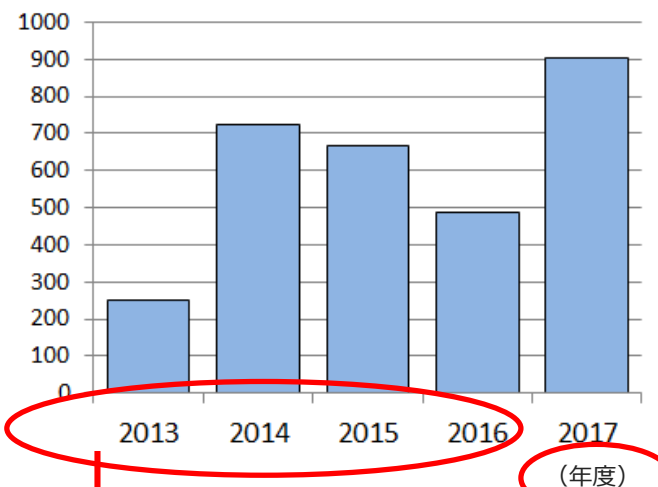
G : ガイドライン

例



末尾の「/ 3」が重複している。
情報の重複は一番伝えたいことが伝わりにくい。

改善例



重複部分を削除。

重複していた部分を 1 か所に表記
英語表記の場合は (FY) として、
FY : Years ended March 31
と表記する

G5-①②

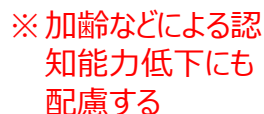
OLYMPUS
INTERNAL USE ONLY 社外秘

- G : ガイドライン

見出しのデザインに一貫性がない

スタイルの一貫性を大切にする

G6-①

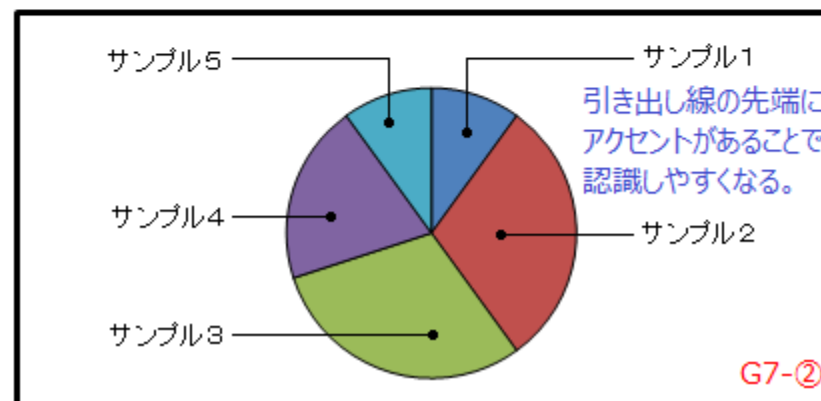
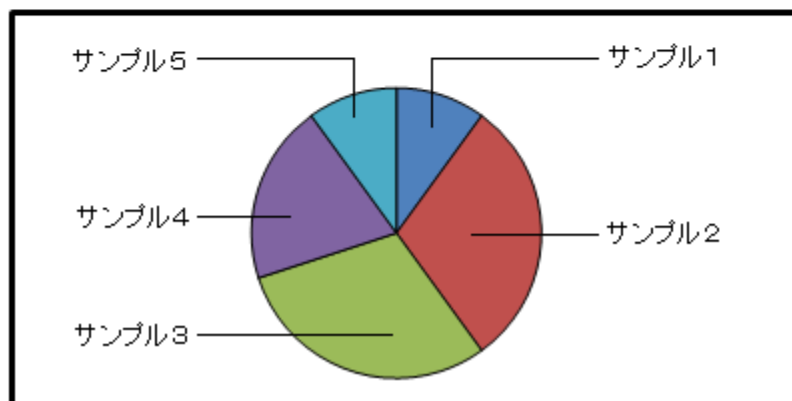
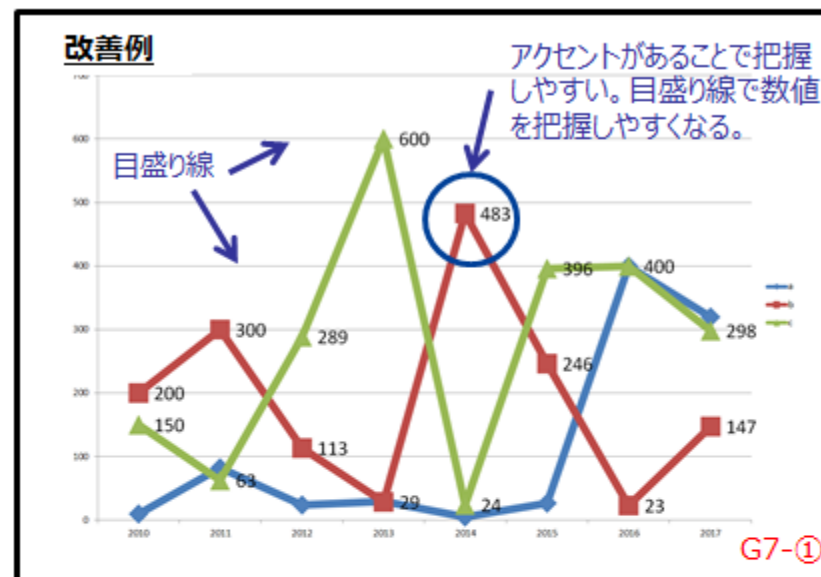
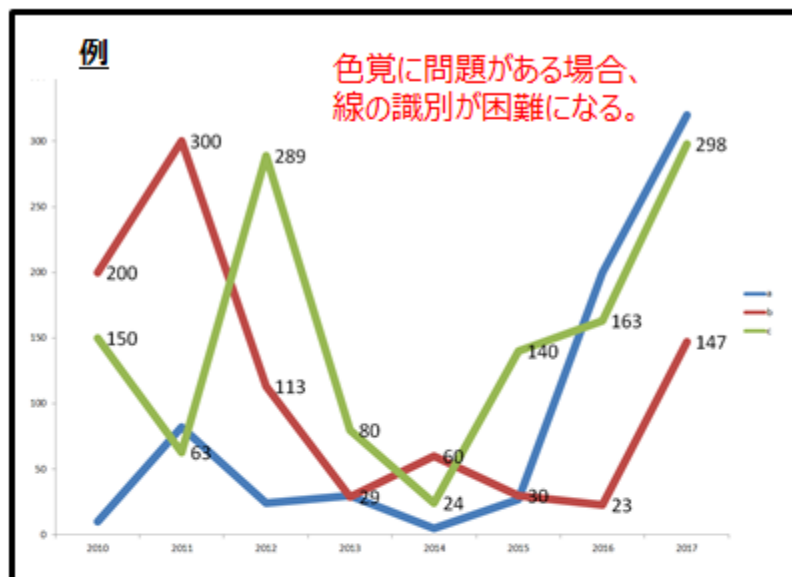


G6-②

ガイドライン 7 : 情報を理解するための補完要素を追加する

- ① 邪魔にならない範囲でグラフに目盛り線やポイントをつける
- ② 引き出し線は、先端にアクセントを付ける

G : ガイドライン



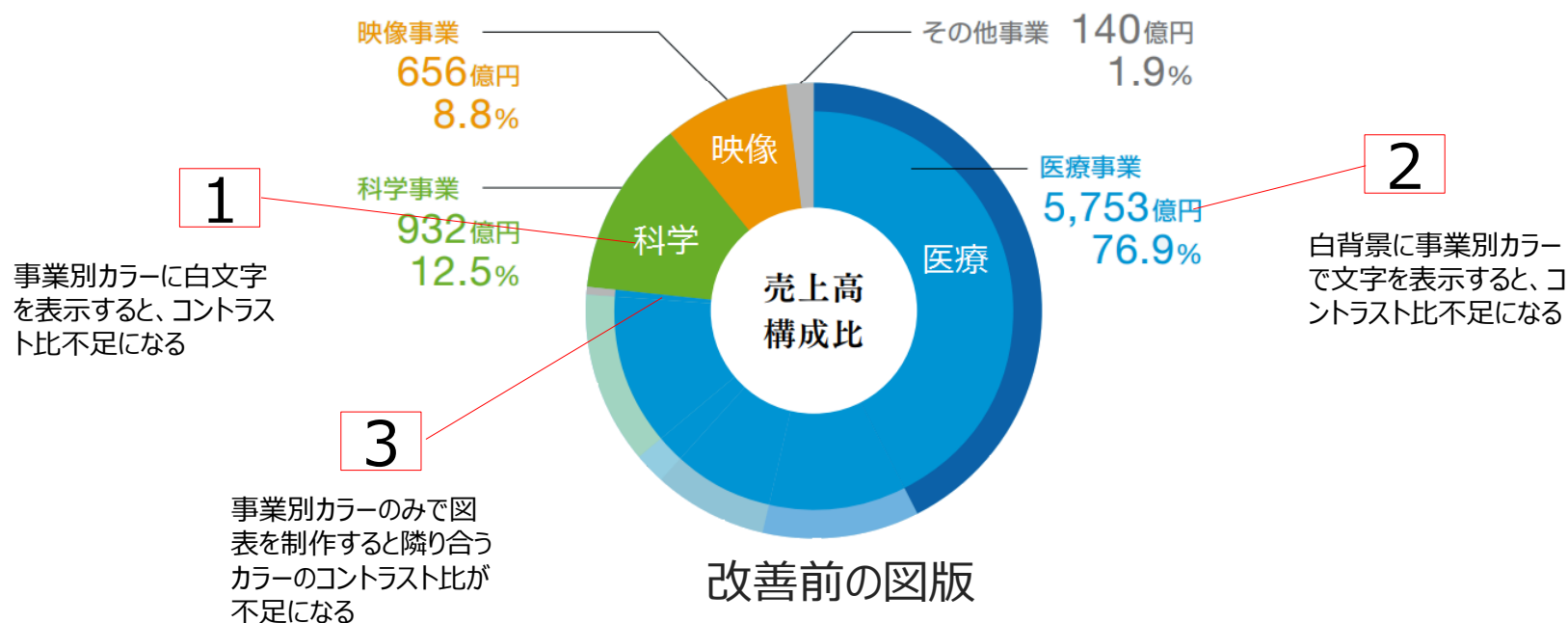
事業別カラー・地域別カラー

考え方

従来のカラーを基にして、当社アクセシビリティ基準をクリアできるように改訂

事業別カラー・地域カラーの新ルール

1. 事業別カラーに白文字を載せた際に、コントラスト比不足が発生する
⇒事業別カラーに文字を載せる場合は黒文字にする
2. 事業別カラーで文字を表示すると、コントラスト比不足になる
⇒文字は黒にする
3. 事業別カラーのみで図表を制作すると、隣り合うカラーがコントラスト比不足になる
⇒隣り合う領域に事業別カラーを使う図表には黒枠を付ける

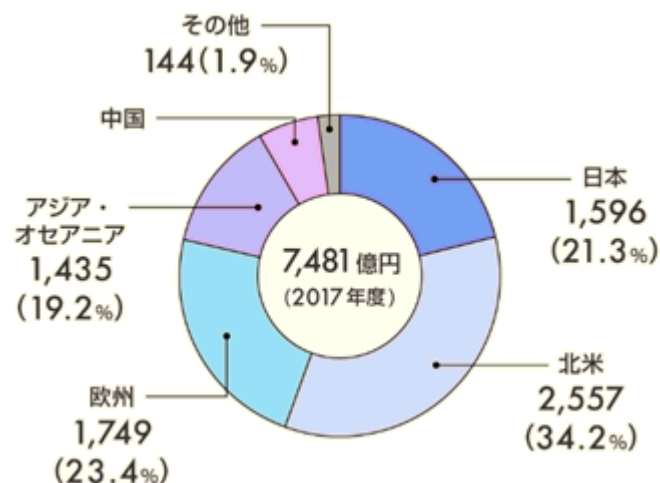
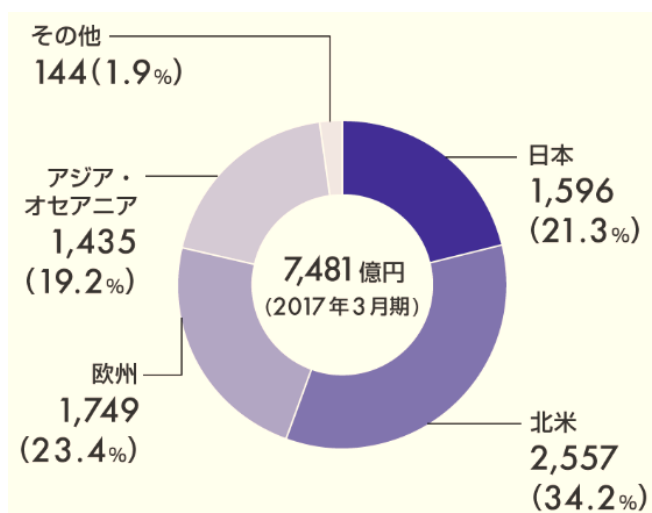


OLYMPUS
INTERNAL USE ONLY 社外秘

2018/10/11 No data copy / No data transfer permitted

新地域別カラー

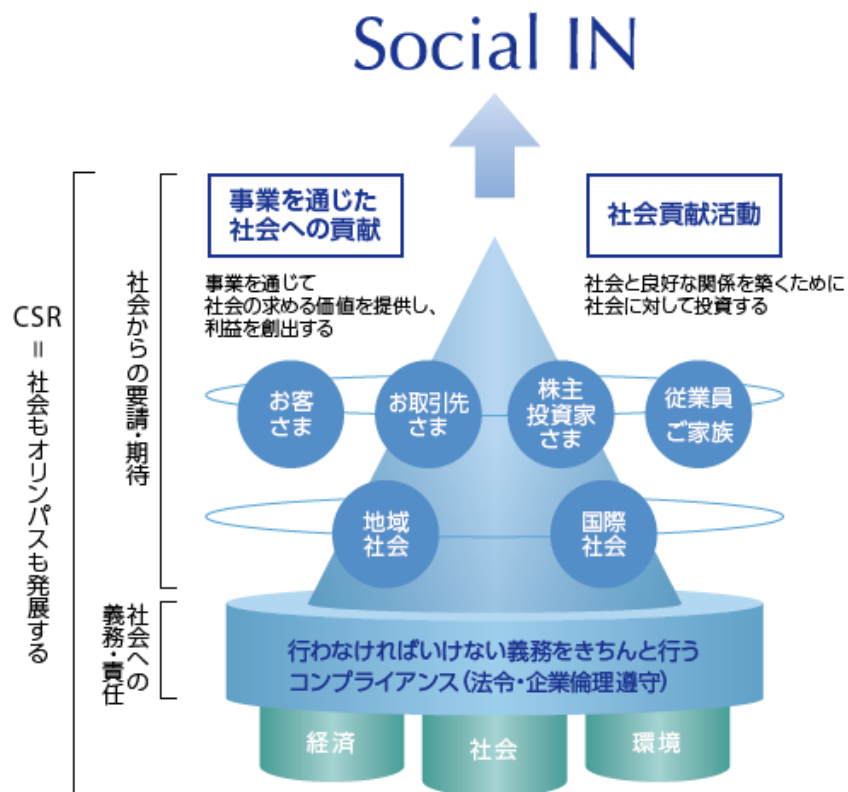
	現状			新ルール						
	■・・・コントラストクリア									
		黒文字	白文字		R	G	B	HEX	黒文字	白文字
日本		1.4:1	15.3:1		116	160	244	#74a0f4	8.1:1	2.6:1
北米		3.3:1	6.4:1		206	222	251	#cedefb	15.5:1	1.4:1
欧州		6.2:1	3.4:1		152	224	247	#98e0f7	14.3:1	1.5:1
アジア・オセアニア		10.7:1	2.0:1		193	188	249	#c1bcf9	11.8:1	1.8:1
中国					228	188	249	#e4bcf9	12.9:1	1.6:1
その他		15.3:1	1.4:1		180	180	180	#b4b4b4	10.1:1	2.1:1



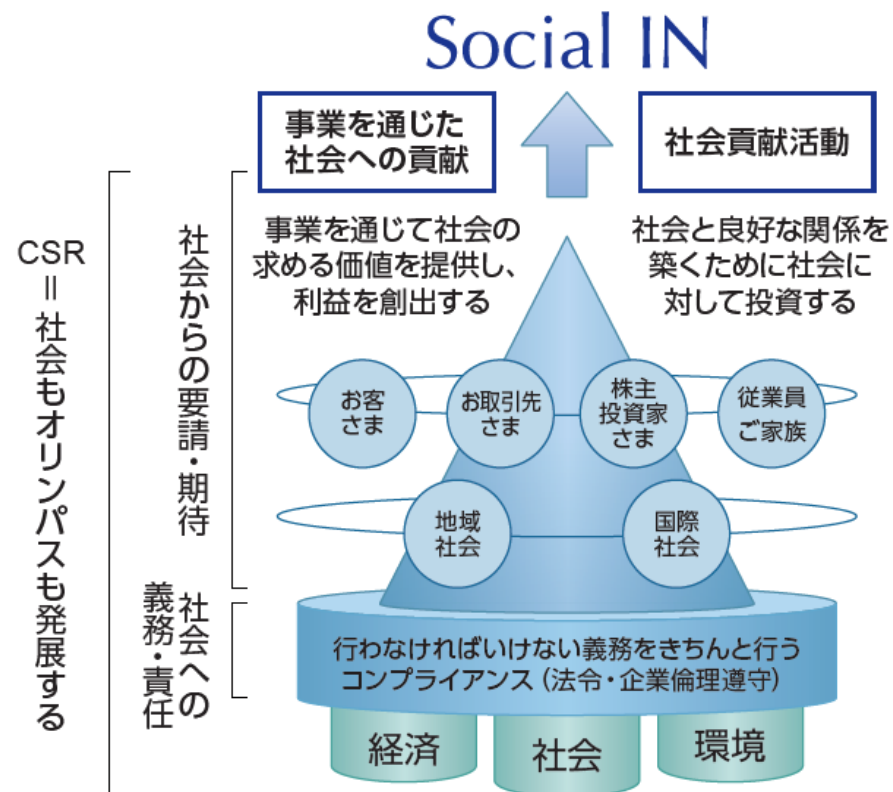
改善例

改善例 1 : CSRLレポート

現在



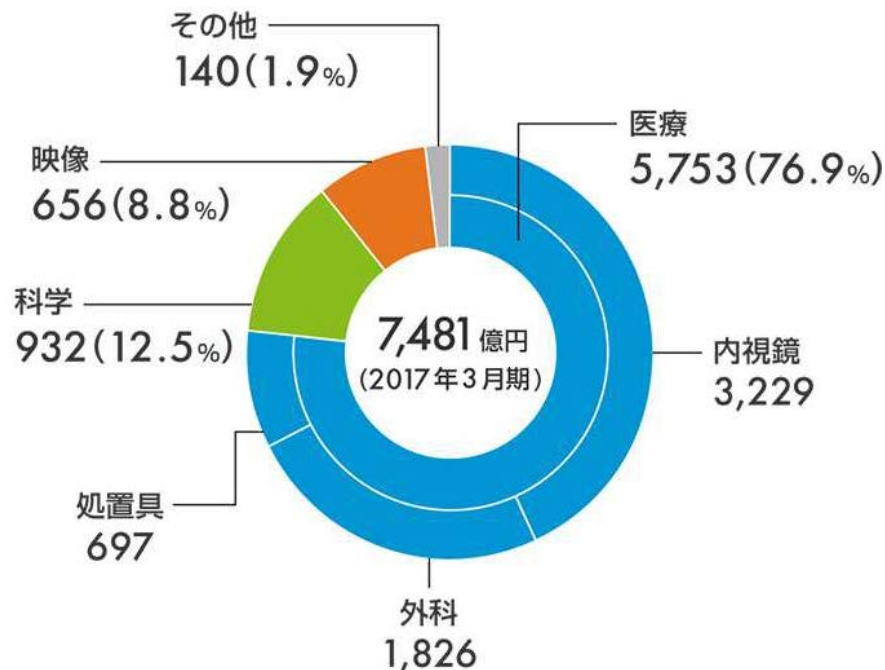
改善例



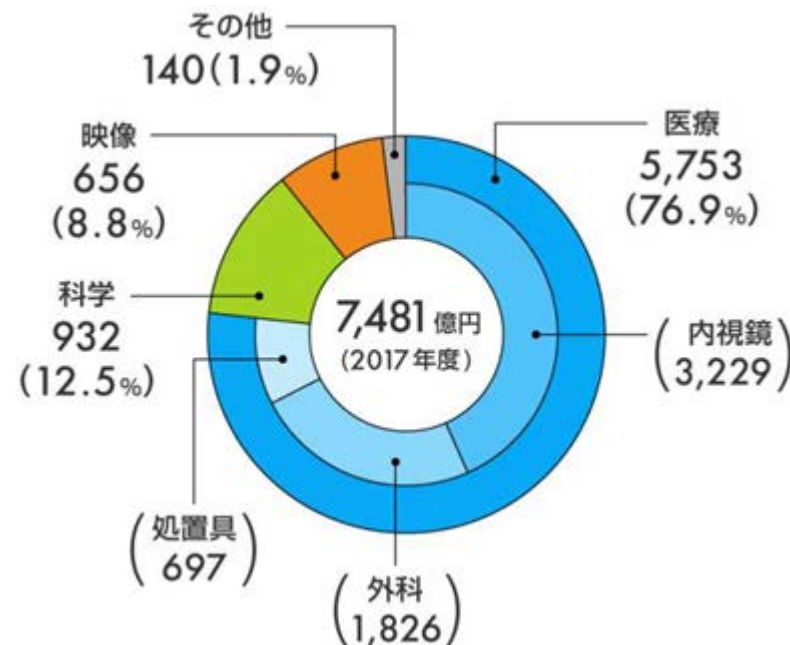
改善ポイント : 1.文字は読みやすいスペースを確保して大きく G1-①, 2.黒文字にして背景のコントラスト比の基準値以上を確保 G2-②, 3.図版に枠線をつけて背景とのコントラスト比を確保 G2-③

改善例 2 : 会社案内・CSRレポート

現在



改善例

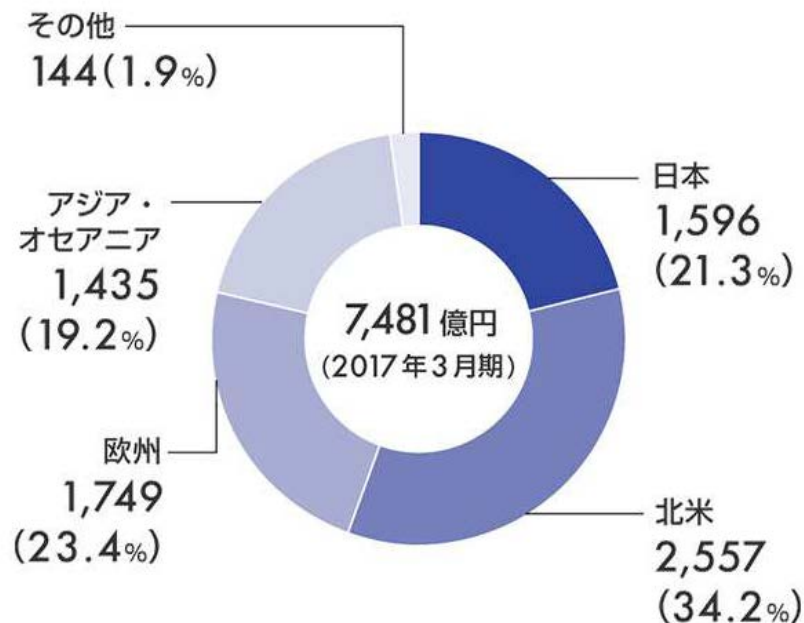


改善ポイント：1.文字は読みやすいスペースを確保した上で大きく G1-①, 2.グラフの引き出し線は、先端にアクセントを付けた G7-②, 3.その他：医療分野の細分類を円グラフの内側に移動して、カッコ付き数値で表示した。

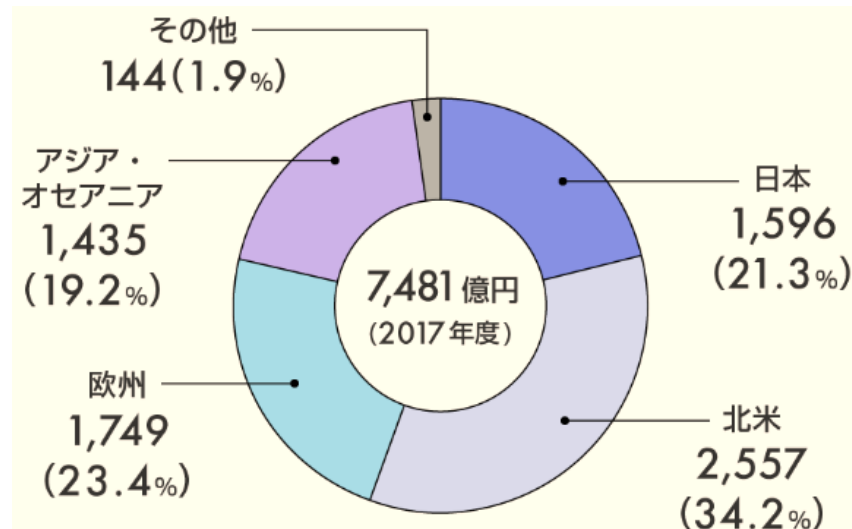
4. 新事業部別カラーを採用

改善例 3 : 会社案内・CSRレポート

現在



改善例

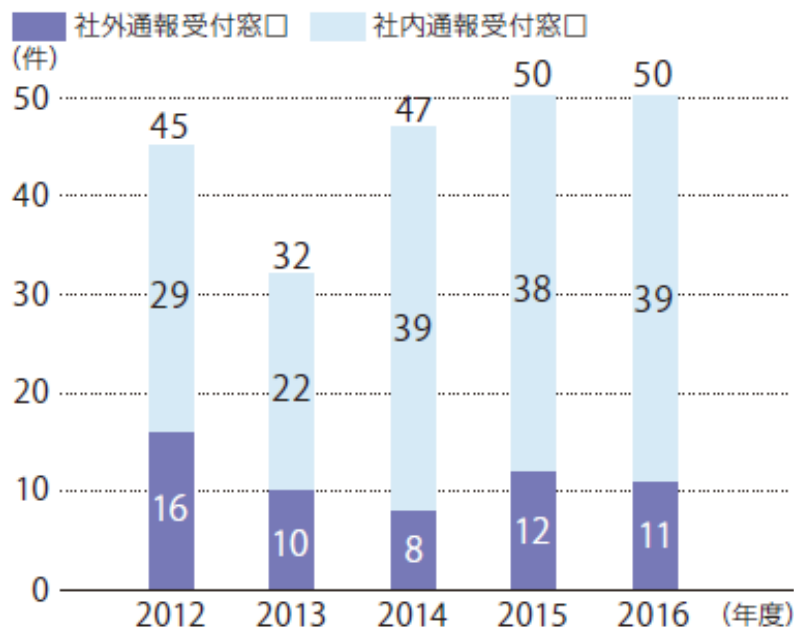


改善ポイント：1.文字は読みやすいスペースを確保して大きく G1-①， 2.グラフの引き出し線は、先端にアクセントを付ける G7-②， 3.引き出し線と背景コントラストを確保するために背景色を明るくして、図版に枠を付けた G2-①， G2-③
4. 新地域別カラーを採用

改善例 4 : CSRLレポート

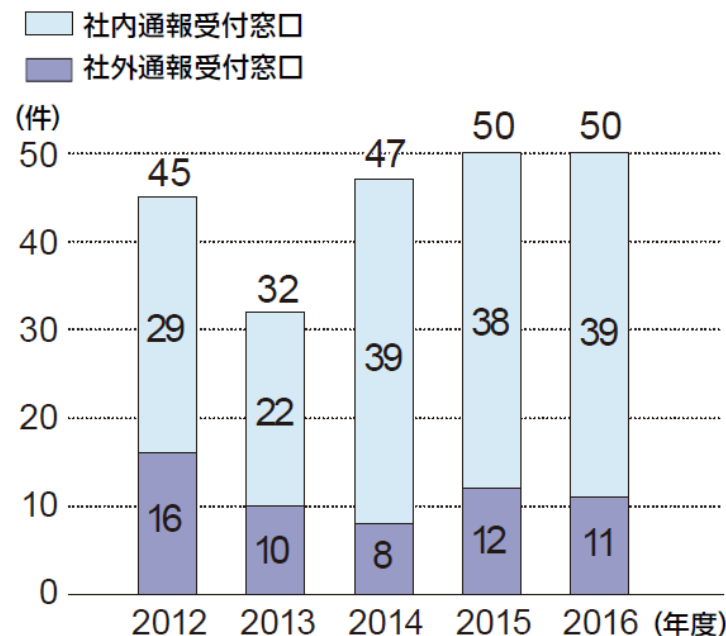
現在

○ 国内内部通報件数



改善例


○ 国内内部通報件数

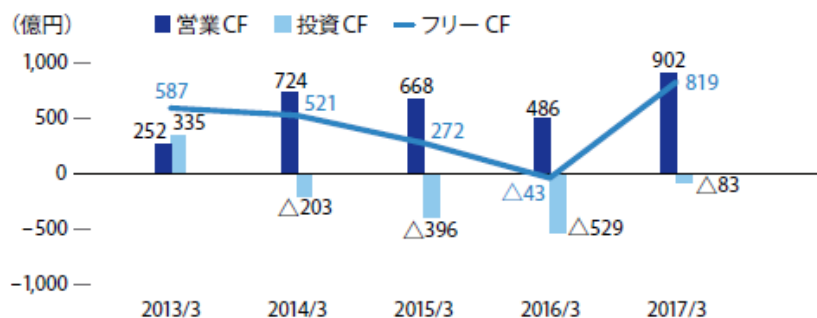


改善ポイント：1.文字は読みやすいスペースを確保した上で大きく G1-①， 2.棒グラフは隣の棒との識別ができる範囲で太く G1-②， 3.白文字は黒文字に変更することで背景のコントラスト比の基準値以上を確保 G2-①， 4.グラフの棒に枠線をつけることで背景とのコントラスト比を確保 G2-③， 5.グラフの凡例は、グラフ要素と揃えたレイアウトに G6-②


改善例 5 : アニュアルレポート

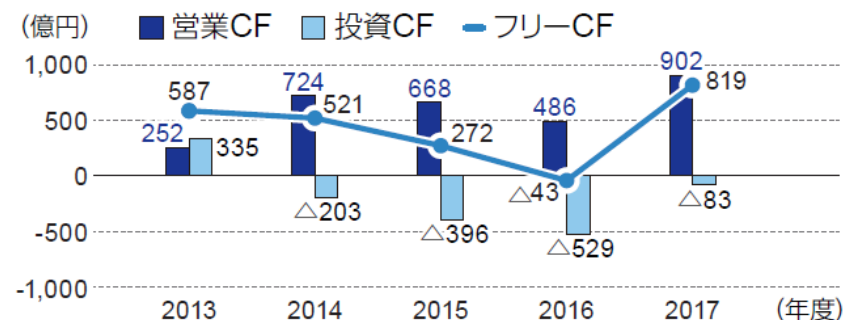
現在

フリー・キャッシュ・フロー(フリーCF) (前期比) 862億円 UP 



改善例

フリー・キャッシュ・フロー(フリーCF) (前期比) 862億円UP 



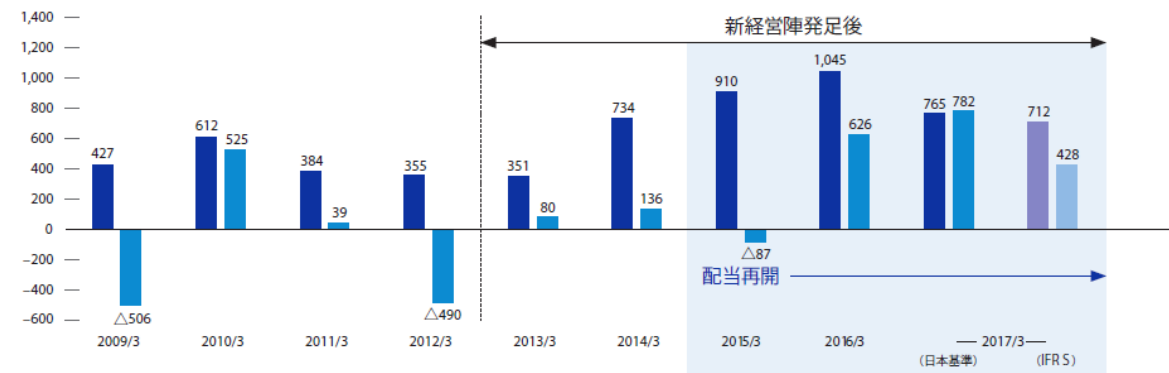
改善ポイント：1.文字は読みやすいスペースを確保した上で大きく G1-①，2.情報を理解しやすくするためにグラフに目盛線やポイントを付けた G7-①，3.矢印図版を白から黒にすることで背景のコントラスト比の基準値以上を確保 G2-①，4.20xx/ 3を年度表記にして重複情報を減らした G5-②

改善例 6 : アニュアルレポート

現在

連結業績の推移

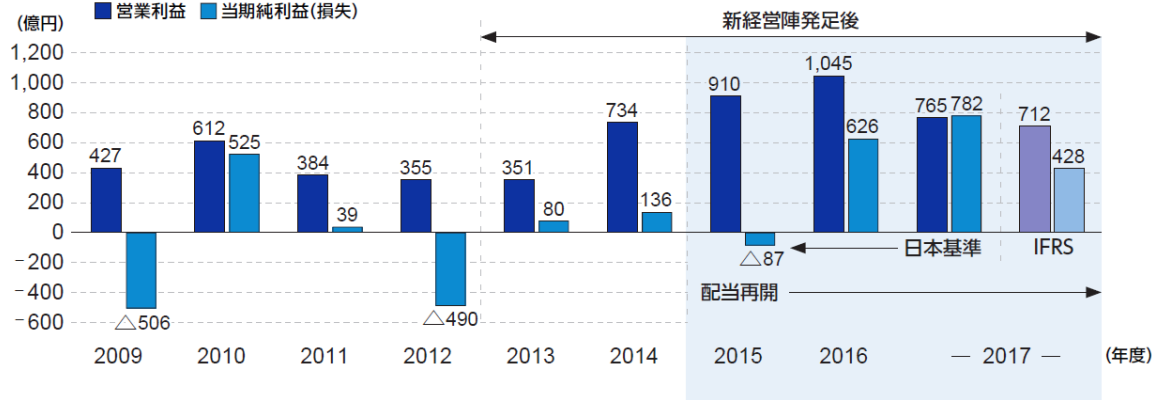
(億円) ■ 営業利益 ■ 当期純利益 (損失)



改善例

連結業績の推移

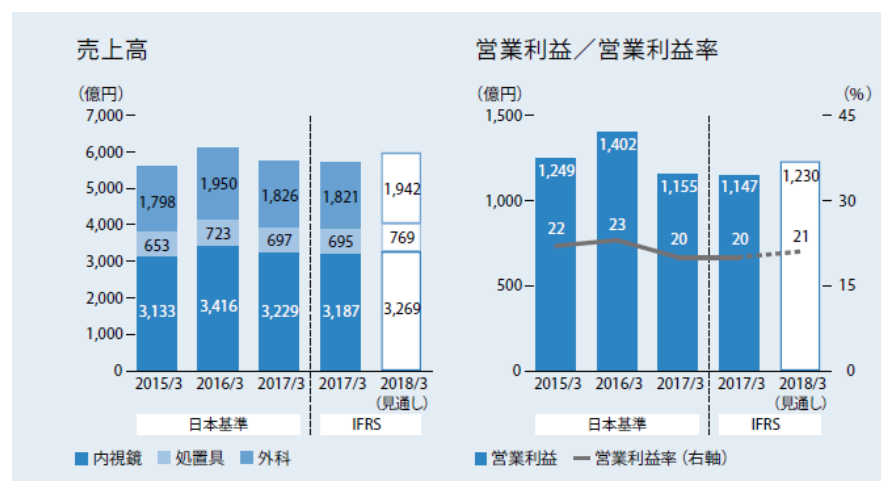
(億円) ■ 営業利益 ■ 当期純利益 (損失)



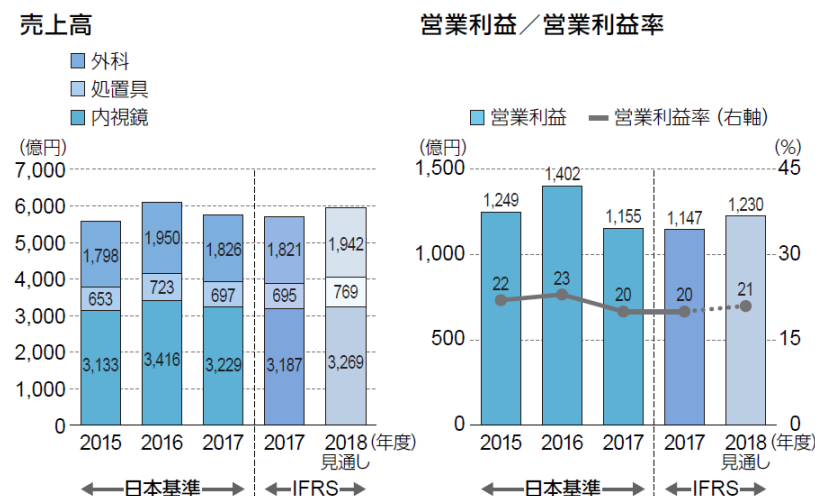
改善ポイント：1.文字は読みやすいスペースを確保した上で大きく G1-①，2.棒グラフは隣の棒との識別ができる範囲で太く G1-②，3.情報を理解しやすくするためにグラフに目盛線を付けた G7-①，4.20xx/ 3を年度表記にして重複した情報を減らした G5-②，5.IFRSと日本基準の対象棒を分かりやすくした G4-②

改善例 7 : アニュアルレポート

現在



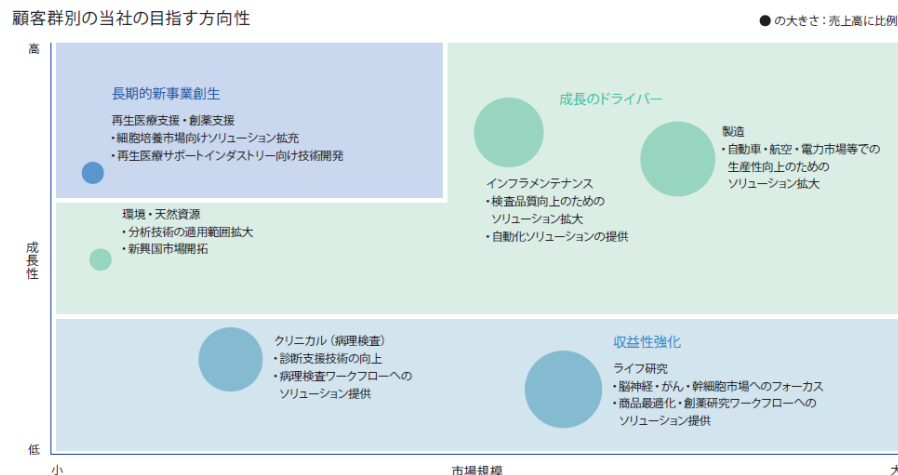
改善例



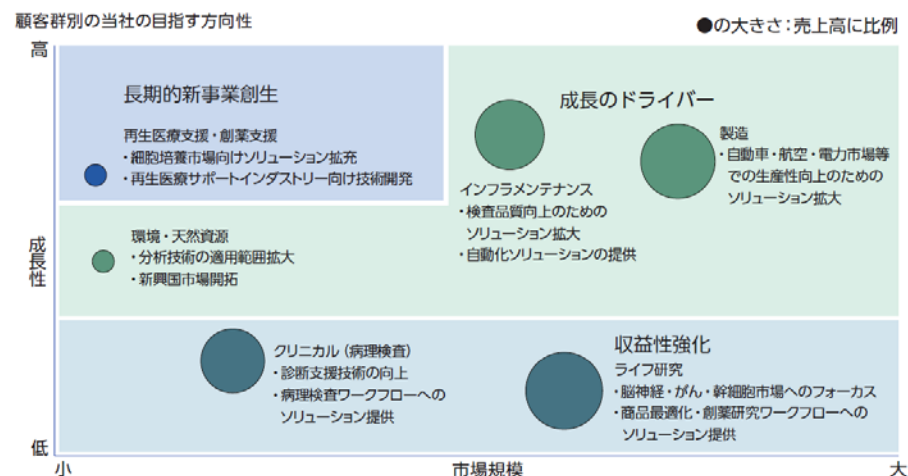
改善ポイント：1.文字は読みやすいスペースを確保した上で大きく G1-①， 2.情報を理解しやすくするためにグラフに目盛線やポイントを付けた G7-①， 3.コントラスト比を確保するために白文字を黒に背景を白に G2-①， 4.20xx/3を年度表記にして重複情報を減らした G5-②， 5.アニュアルレポートの連結業績推移と表現を統一するため日本基準とIFRSの色を別にした G4-②

改善例 8 : アニュアルレポート

現在



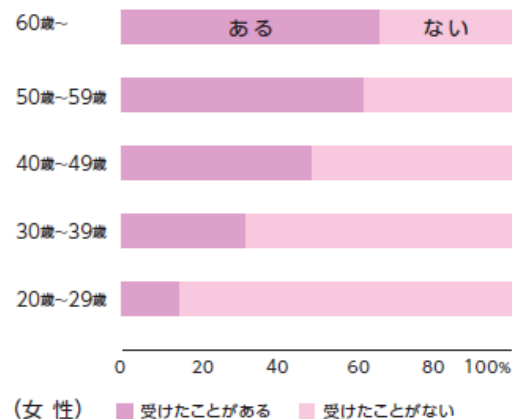
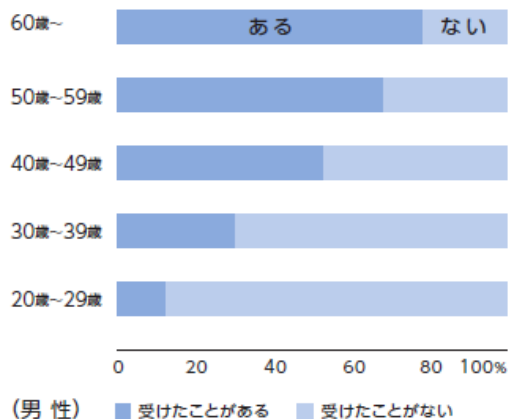
改善例



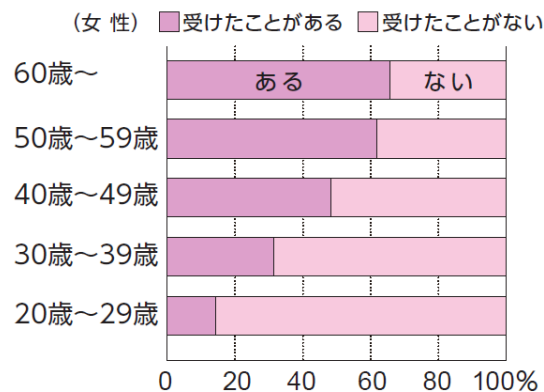
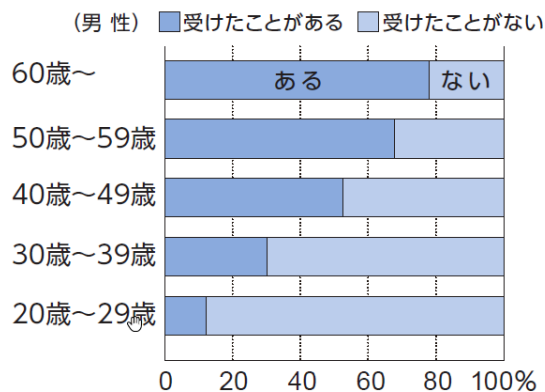
改善ポイント：1.文字は読みやすいスペースを確保した上で大きく G1-①, 2. 文字や図版と背景のコントラスト比を確保するため文字を黒に、G2-①, バブルは色を濃くして黒の枠線を付けた G2-①,③

改善例 9 : 会社案内

現在



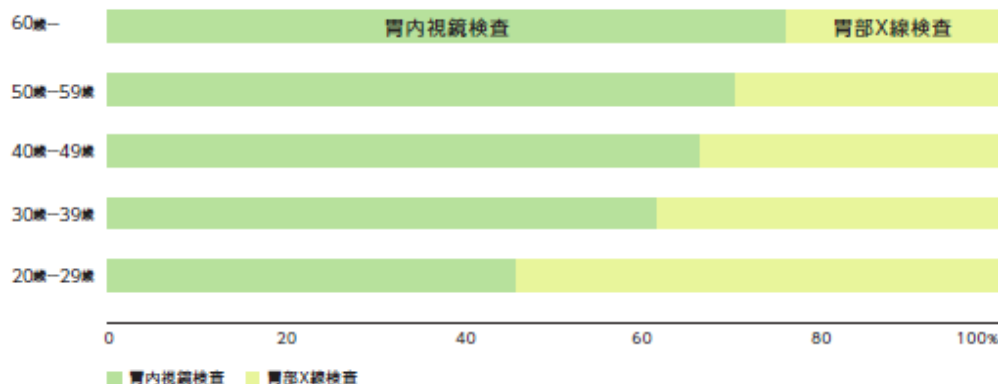
改善例



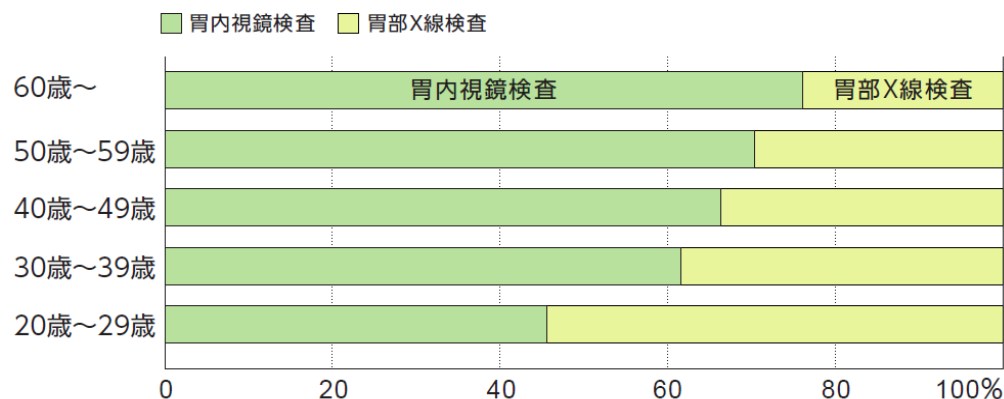
改善ポイント：1.文字は読みやすいスペースを確保した上で大きく G1-①，2.文字や図版と背景のコントラスト比を確保するため棒に黒の枠線を付けた G2-③，3.グラフを見やすくするためにグラフに目盛線を付けた G7-①

改善例 10 : 会社案内

改善前



改善例



改善ポイント：1.文字は読みやすいスペースを確保した上で大きく G1-①, 2.文字や図版と背景のコントラスト比を確保するため棒に黒の枠線を付けた G2-③, 3.グラフを見やすくするためにグラフに目盛線を付けた G7-①

OLYMPUS
